



# 札証IR 個人投資家向け会社説明会

2025年11月26日  
証券コード：9027  
札幌証券取引所



1. ロジネットジャパンとは
2. 成長戦略
3. 資本政策・株主還元
4. 参考資料

# 1 ロジネットジャパンとは



◀本社 LNJ札幌大通公園ビル（札幌市中央区）

## 会社概要

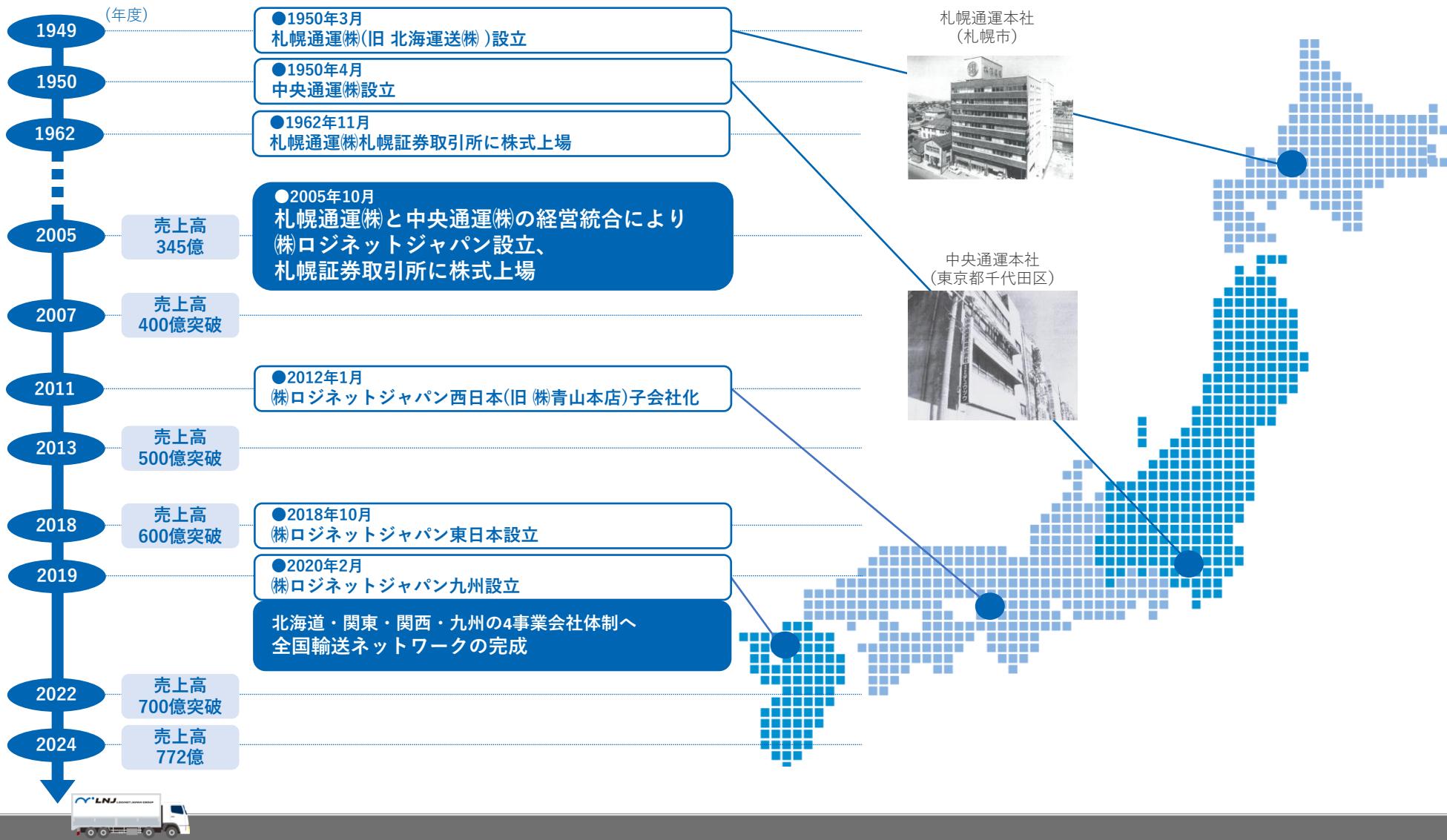
### LNJ 株式会社ロジネットジャパン

本社所在地	札幌市中央区大通西8丁目2-6 LNJ札幌大通公園ビル
設立	2005年10月
資本金	10億円
上場証券取引所	札幌証券取引所（証券コード：9027）
主要事業	運送事業（輸送、倉庫、その他関連事業）
従業員数	2,304名（2025年3月末時点、グループ連結）
売上高	772億5,600万円（2025年3月期、グループ連結）
経常利益	34億6,800万円（2025年3月期、グループ連結）
代表者	代表取締役社長執行役員 橋本 潤美



(略歴)

- 1996年3月 小樽商科大学 商学部卒業
- 1996年4月 札幌通運株式会社 入社
- 2012年4月 株式会社ロジネットジャパン  
総務・企画 担当部長
- 2016年4月 取締役人事担当部長
- 2018年4月 常務取締役
- 2019年4月 専務取締役経営企画管理本部長
- 2020年4月 代表取締役社長
- 2022年4月 代表取締役社長執行役員（現任）



## 企業理念

私たちは、未来への懸け橋となる物流の価値を創造し続けます。

### 信頼

物流改革を通じて、皆さまの信頼に応えます。

### やりがい

従業員がやりがいをもてる企業であり続けます。

### 成長

時代の激しい変化を見据えて、柔軟かつ発展的に行動します。

### 貢献

持続可能な物流を通じて、より良い社会づくりに貢献します。

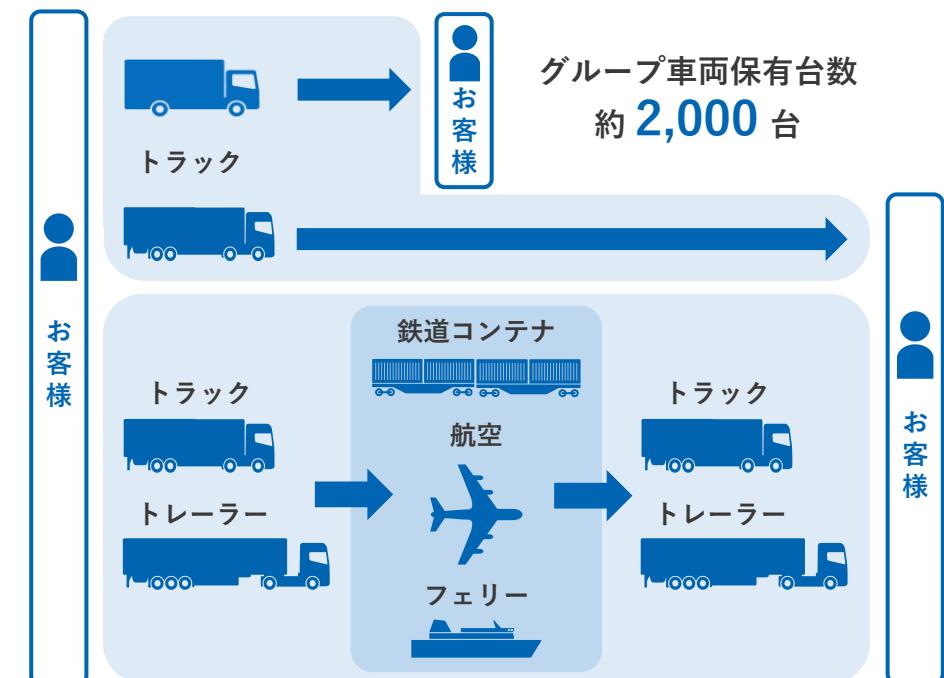


# ロジネットジャパングループの強み

## ●日本全国に広がる自社物流ネットワーク



## ●陸海空を網羅した多様な輸送手段



トランクルート diagram showing the flow from customer to various transport modes (Truck, Train, Air, Ferry) and back to customer.



## 事業内容①企業間(BtoB)輸送

### 企業間(BtoB)輸送

日本全国で企業間輸送を提供。陸海空を網羅した多様な輸送手段で、近距離・小口配送から長距離・大量輸送まで対応。

#### トラック輸送

トラックでの輸送。特別積み合わせ便、貸し切り便など、ニーズに合わせた輸送サービスを提供。グループで約2000台の車両を保有。



#### 鉄道コンテナ輸送

鉄道を利用した輸送。2023年度のJRコンテナ年間取扱数は全国2位、全国通運業連合会の加盟事業者（全通系）では全国1位。

#### 航空輸送

航空会社が運航する航空機を利用した輸送。日本全国で当日・翌日配送のニーズに対応。



#### フェリー輸送

船会社が運航するフェリーなどの船舶を利用した輸送。全国各地で1日約140台のトレーラーを発送している。



## 事業内容②多岐にわたる物流サービス

企業間(BtoB)輸送以外にも、多岐にわたる物流サービスを展開。

### EC物流事業

全国各地のラストマイル専用拠点を起点として、主に軽貨物車両を活用し宅配業務を提供。宅配に付随する幹線輸送や在庫管理、仕分けセンターでの業務にも対応。



### 引越・移転事業

総合物流企業としての輸送力を活かし”さくらスマイル引越隊”としてサービスを展開。単身や家族の引越から大規模な事務所移転まで、日本全国で対応が可能。



### 通関業・国際物流事業

首都圏および北海道の空港・港を拠点に通関業務を提供。また、お客様の国際輸送をサポートするため、フォワーダーとして輸送の仲介を担い、船便や航空便の手配などの輸出入業務に対応。



### 倉庫業

全国各地で約55,000坪の倉庫を保有。保管および付随する仕分け作業などの業務を提供。



## 事業別売上高構成

トラック輸送が主力事業

その他  
26.3%



鉄道コンテナ輸送



航空輸送



倉庫業

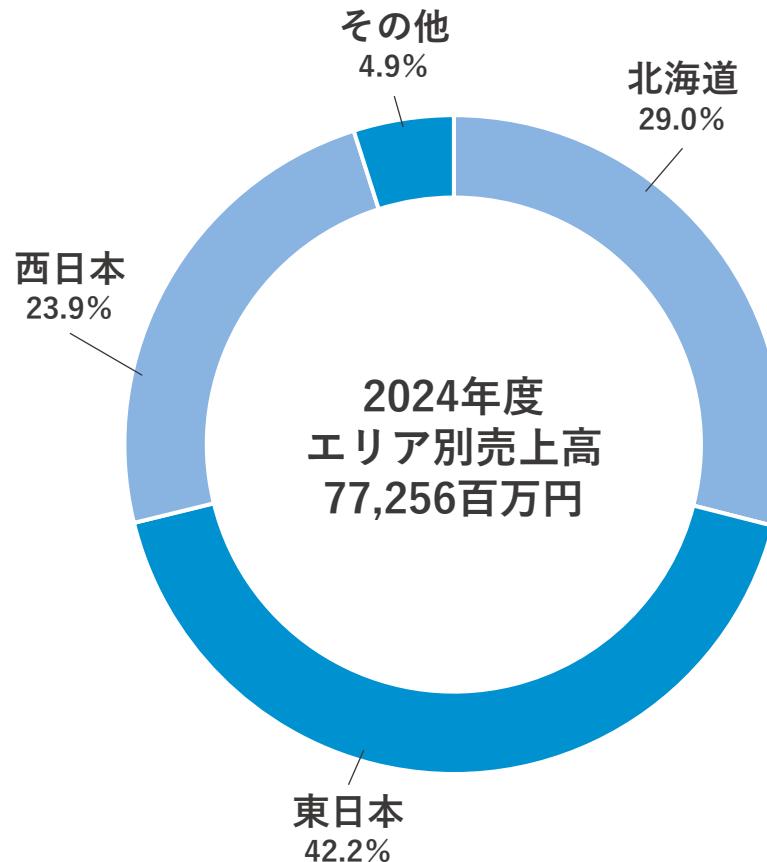
etc.

2024年度  
連結売上高  
77,256百万円

トラック輸送関連事業  
73.7%



## エリア別売上高構成



東・西日本の売上高は約70%

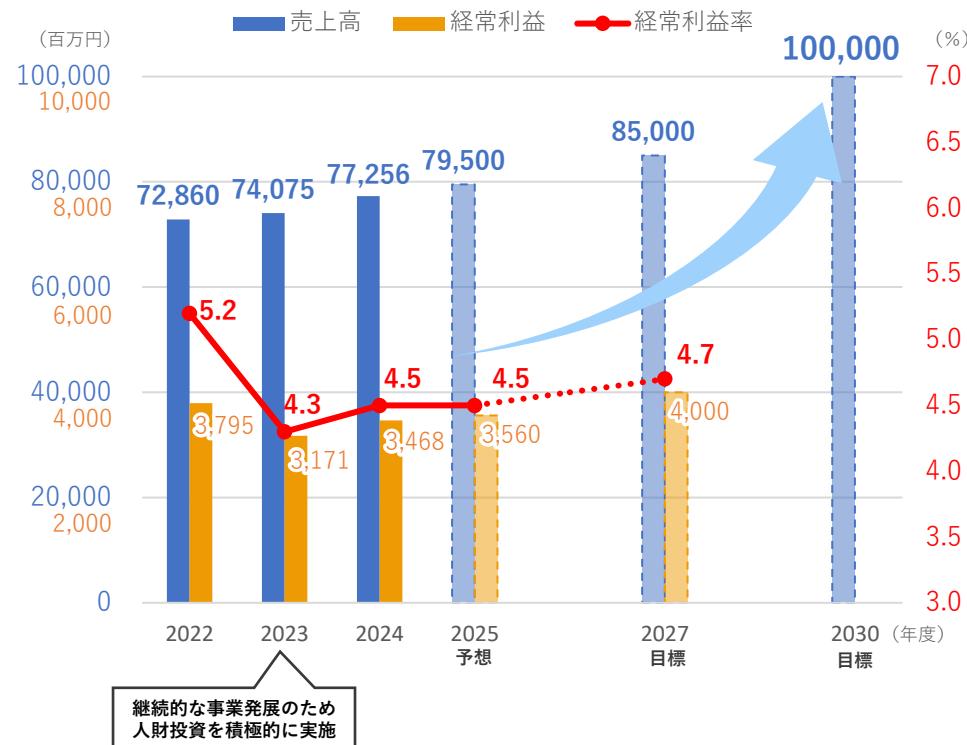


# 2 成長戦略

## 中計2025-2027経営目標

## 事業目標

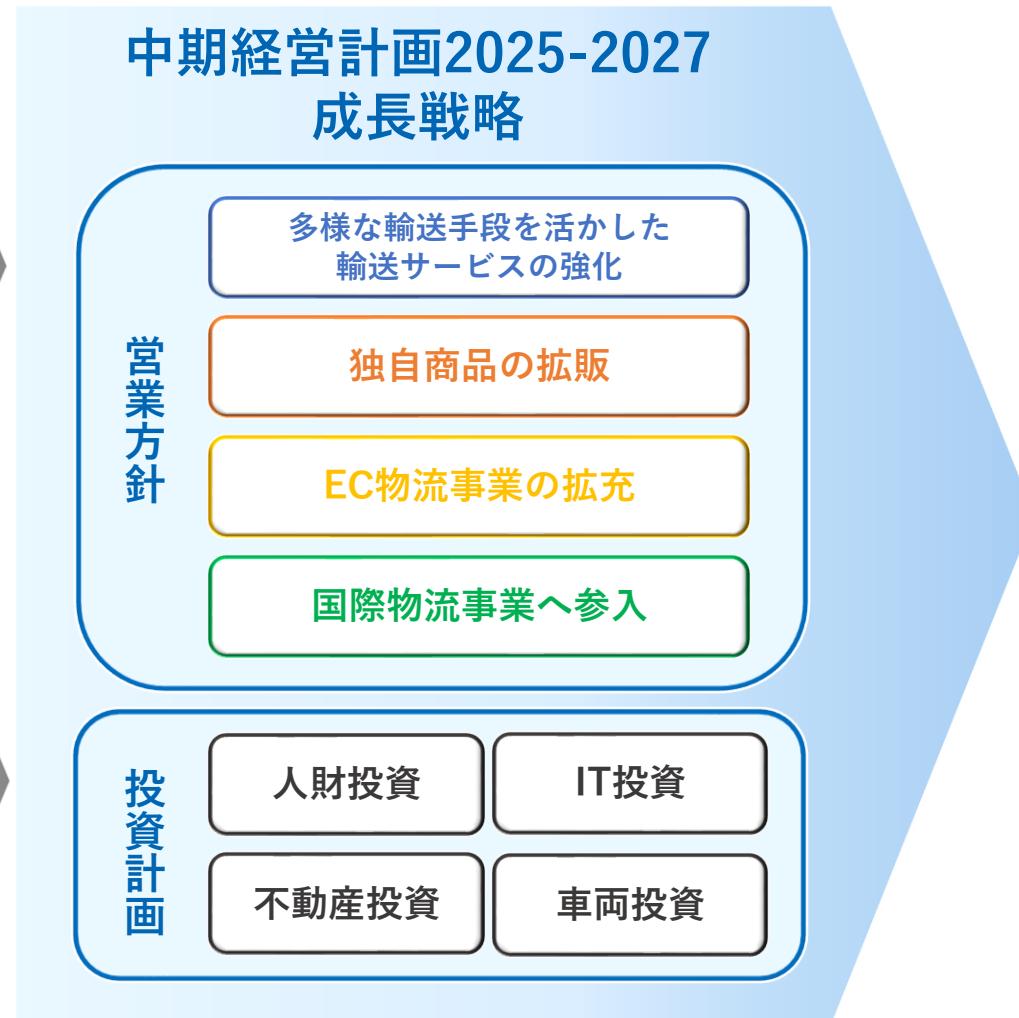
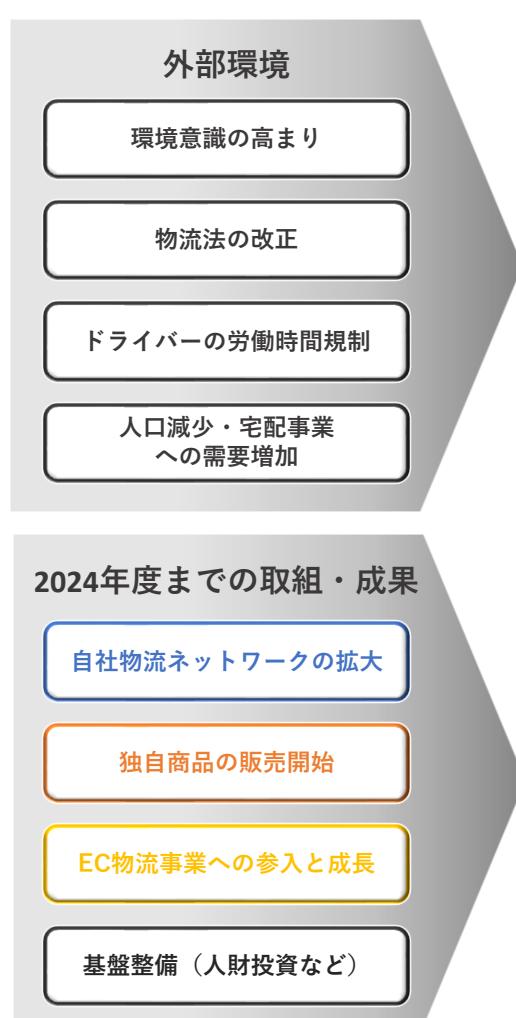
- ・強力な存在感を持つ総合物流企業グループへ成長を果たす
- ・2030年度までに連結売上高1,000億円を実現する



中期経営計画 2025-2027	
売上高	850億円
経常利益	40億円
経常利益率	4.7%
配当性向	35.0%以上
総還元性向	45.0%以上
ROE	11.0%以上
ROIC	7.0%以上
PBR	1.0倍以上
PER	10.0倍以上
DOE	4.0%以上



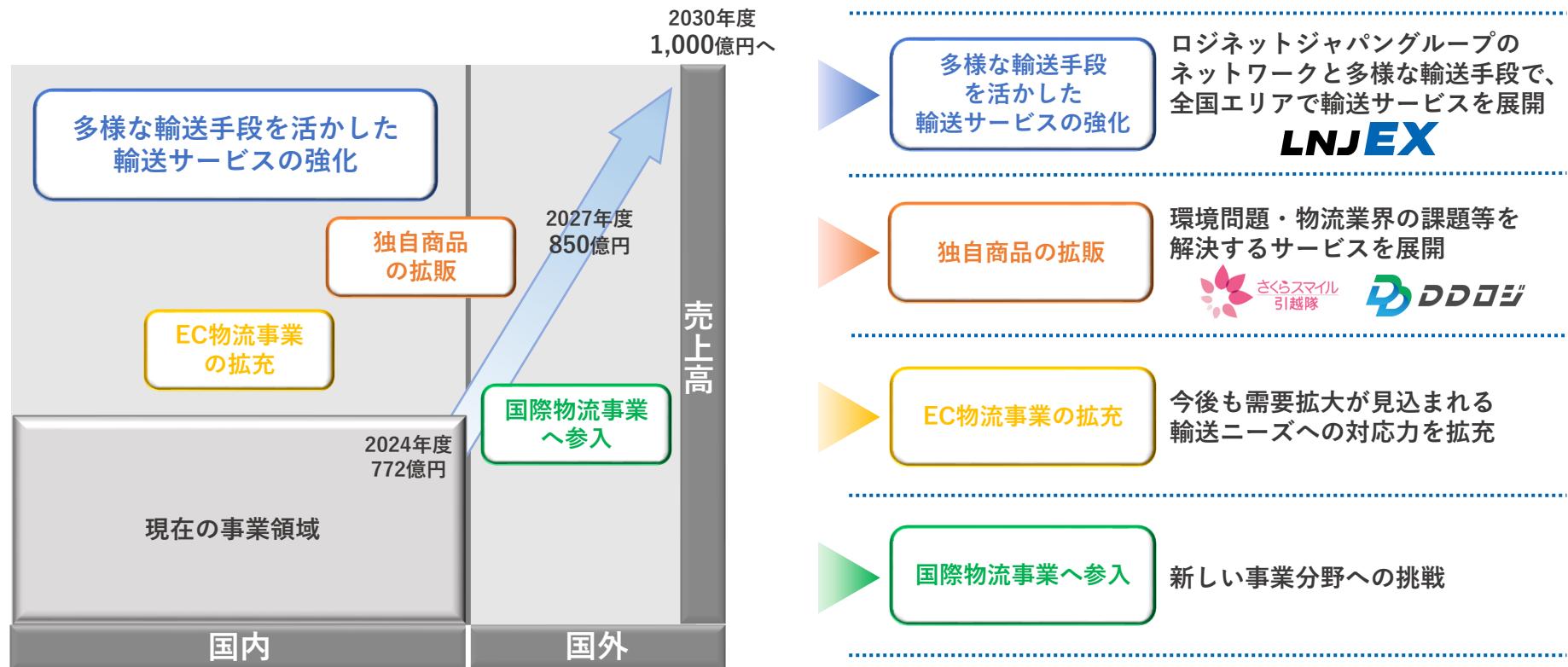
## グループ成長戦略



## 4つの営業方針

### ●営業方針2025-2027

以下の4つの営業方針を中心とした取り組みにより、業績目標の達成を目指す。



## 営業方針

多様な輸送手段を活かした  
輸送サービスの強化


**EXpandable**

 全国ネットワークと  
幅広い輸送モード

**FIEXible**

 お客様のニーズに  
柔軟に対応

**EXpress**

 迅速な  
輸送サービス

全国ネットワークと多様な輸送手段を活用し、お客様に最適な輸送メニューを提供する  
ロジネットジャパングループの輸送サービス

- これまで拡大してきた事業エリアと輸送力を活かし、全国エリア、特に本州エリアでの輸送サービスの展開を強化
- 長距離輸送における労働時間規制や、改正物流法への対応策としてモーダルシフト・スイッチ運行を提案
- 各事業会社エリアの配送網・車両を活用した、中・長距離輸送業務を拡大

〈輸送例①〉 長距離幹線輸送セレクション

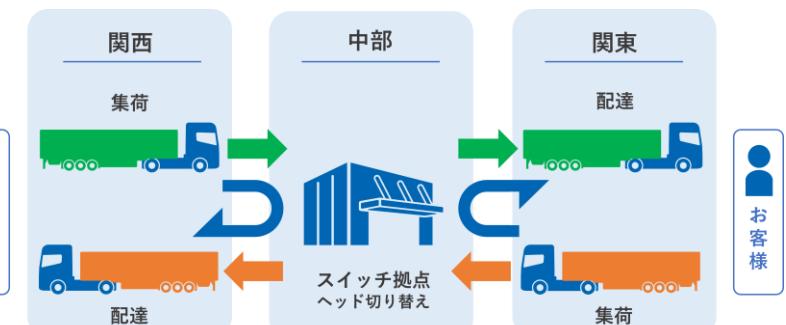


「無人化・大型化」をキーワードに、トレーラー輸送と  
JRコンテナ輸送を複合的に組み合わせた輸送を提案



〈輸送例②〉 トレーラースイッチ運行

スイッチ拠点でトレーラーヘッドを切り替えて運行区間を分割することで、  
ドライバー1人当たりの運行距離と時間を短縮し安定輸送を実現



## 営業方針



さくらスマイル  
引越し隊

総合物流企業としての輸送力を活かした、  
全国エリアでの引越事業

### 単身引越者向け商品 「さくらボックス」

- ・大切な家財をしっかり保護
- ・ユニット単位だから保管に最適
- ・ボックス単位の分かりやすい料金体系
- ・運び出し・到着日時の指定が可能



運送用ボックスユニット  
特許  
第7384659号

### 独自商品の拡販



1パレット単位で発注された荷物を最終納品先に、  
ダイレクト (Direct) に輸送 (Delivery) する、  
規格定型輸送サービス商品

- ・DDロジが実現する「コスト削減・作業削減・CO2削減」をアピールし、輸送体制の見直しを含めた提案を実施
- ・労働時間規制、環境問題への対策および改正物流法によるパレタイズ化推進策としてDDロジを提案

管理システム  
特許  
第7717032号

合紙製パレット  
実用新案登録  
第3243394号



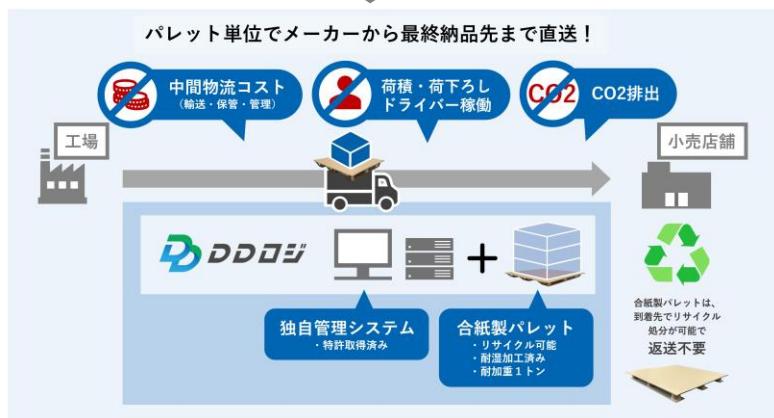
## 営業方針

## 独自商品の拡販



## 「直送」でコスト・荷役・CO2を削減する独自輸送商品

独自の管理システムと、自社開発の高強度・高耐荷重の合紙製パレットを活用して、最終納品先まで「直送」することで、輸送の途中で発生する中間物流コストやドライバー稼働・荷役を削減。また、トラックの稼働も縮減し、CO2の削減にも貢献。



大阪・関西万博で **DDロジ** の  
コンセプトを体験できるVRを展示



2025年9月1~3日、大阪・関西万博「TEAM EXPOパビリオン」にて、「DDロジ」が実現する「脱炭素化」をテーマに、コンセプトを紹介する展示を実施。多くの方々に当社の取り組みをご体験いただいた。



会場ではDDロジパレットと  
同じ材質のコースターを  
プレゼント



万博展示の詳細はこちら

## 営業方針

## EC物流事業の拡充

EC物流事業で培ったノウハウを活かし、今後も需要拡大が見込まれる輸送ニーズへの対応力を拡充

- ・EC物流のニーズに応えるための基盤強化
- ・EC市場の成長・変化に対応した柔軟な物流事業の提供



## 国際物流事業へ参入

国内輸送で培った実績をもとに、グローバル市場にも対応した物流サービスを提供するため、国際物流事業に挑戦

- ・国内外のお客様に対してより広範なサービスを提供し、競争力を高めるための体制を整備
- ・農産物輸送の実績やノウハウを活かし、増加が見込まれる農産物の海外輸出のニーズに対応
- ・国際物流事業においても「 DDロジ」などの環境に配慮した持続可能な物流を実現するための取り組みを推進



# 基盤整備

## 2024年度までの取組・成果

### 人財投資

- 人財投資を強化する方針のもと、様々な物価が高騰する昨今の情勢や2024年問題への対応、および事業拡大を見据えた先行投資として、優秀な人財確保のための大卒初任給の引き上げやグループ従業員の処遇改善を継続的に実施
- 福利厚生制度の拡充など社内制度の整備を推進

#### ●人件費ベースアップ実績

	2023年度	2024年度
人件費 ベースアップ額	989百万円	649百万円
対前年 増減	約8%増加	約5%増加

#### ●大卒初任給(2025年度)の状況



350,000円  
(大卒・大学院卒 総合職)

### IT投資

- IT化推進による事務効率化
- IT活用による輸送現場における業務効率化、安全管理体制強化

### ガバナンス

- 企業価値向上に向けたガバナンス強化
- コンプライアンス体制強化
- 資本収益性を意識した経営管理体制強化

## 中期経営計画2025-2027

### 人財投資

- 優秀な人財の確保、定着
- 経営戦略に即した人財育成

### IT投資

(20億円規模)

- ITインフラ増強
- DX投資
- 事務業務のデジタル化

### 不動産投資

(90億円規模)

- 新規事業投資
- 既存施設更新

### 車両投資

(50億円規模)

- 売上拡大計画
- 既存車両代替
- 新規事業準備



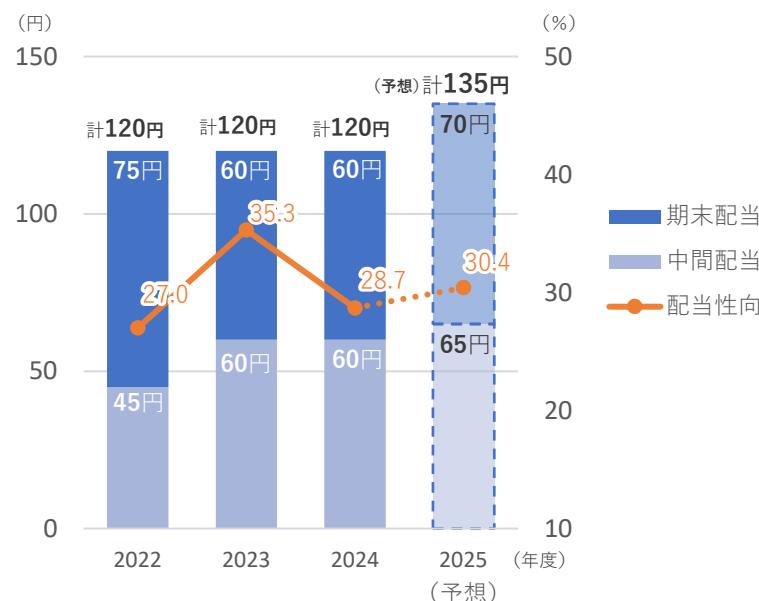
# 3 資本政策・株主還元

---

# 株主還元

## ●配当方針

株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置づけた上で、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当を継続することを基本方針とする。



## ●自己株式の継続取得

1株当たり株式価値の向上による株主還元の拡充と資本効率の向上を図るとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を可能とするために、自己株式の取得を進める。

### 直近の自己株式の取得について

- (1) 取得した株式の種類 …当社普通株式
- (2) 取得した株式の総数 …411,400株
- (3) 株式の取得価額の総額 …1,557,149,000円
- (4) 取得日 …2025年8月22日
- (5) 取得方法 …札幌証券取引所の立会外

自己株式取得取引による買付け

### 中期経営計画2025－2027目標

・配当性向 … 35.0%以上

・総還元性向 … 45.0%以上



## 株主優待

### ● 優待品

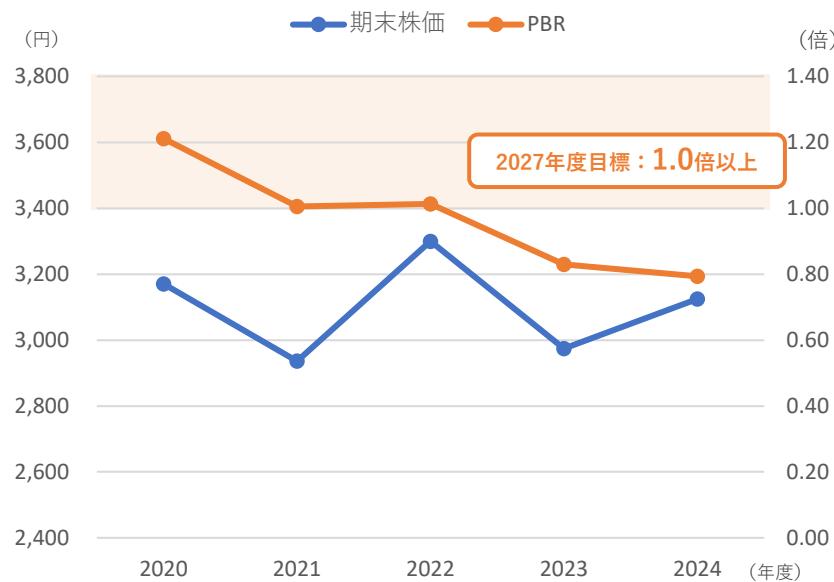
3月末日を基準日として、100株以上保有いただいている株主様に、  
当社が製造販売を行っているミネラルウォーター「北海道大雪山ゆきのみず」（1箱550ml×24本入り）を進呈。

持株数	送付数
100～499株	1箱
500～9,999株	5箱
10,000～49,999株	10箱
以降、5万株毎に	10箱追加



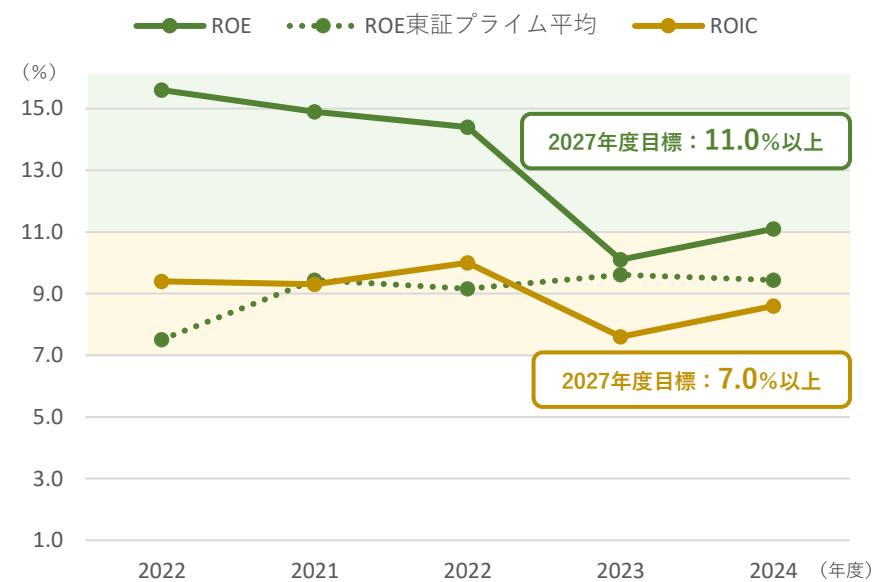
# PBRの向上に向けた進捗

## ●期末株価/PBR



- 事業拡大に伴い、1株当たり当期純利益は増加傾向にあるものの、株価は3,000円前後で推移
- 直近のPBRは0.8倍前後で推移

## ●ROE/ROIC



- 事業エリア拡大期と比較すると成長スピードはやや鈍化傾向にあるが、ROE、ROICは一定の成長を維持する水準で推移



# 4 參考資料

## 物流以外の取り組み①飲料水製造販売事業



## ● 北海道大雪山ゆきのみずの製造販売

## 目的

自社物流ネットワークを活かした事業の多角化



自社グループの輸送網と輸送ノウハウを活かし、ミネラルウォーター「北海道大雪山ゆきのみず」の製造販売を2012年6月に開始。北海道上川町に保有する自社工場で年間約2,000万本を生産。地元をはじめ、全国の著名なホテルやレストランで客室冷蔵庫の飲料水、テーブルウォーター等にもご利用いただいている。

## 物流以外の取り組み②地域振興事業



## ● 北海道農業への取り組み

## 目的

北海道農業の持続的発展・経済発展への貢献



北海道農業の持続的発展・経済の発展に貢献するため、2020年度よりスタートした帯広畜産大学（北海道 帯広市）との産学協同事業を通じて農業事業に参入。2021年に、北海道 幕別町で馬鈴薯等の栽培を開始。2023年には農業法人「株式会社あぐりてーる（北海道 富良野市）」へ資本参加をし、活動の幅を広げている。北海道農業の伝承や生産力の維持拡充、農業の6次化に向けたビジネスモデルの構築を目指し、農業事業への挑戦を続けていく。

## 物流以外の取り組み③社会貢献活動

### ● チャリティーコンサートの実施

#### 目的

社会福祉への還元を通じた、文化と福祉両面での地域社会への貢献

『北の大地をこころでつなぐ』をテーマに、毎年4月に「ロジネットジャパン チャリティーコンサート」を開催。北海道唯一のプロ・オーケストラである札幌交響楽団のダイナミックな演奏を、地域の方々へお届けしている。チケット売上的一部分を「公益財団法人 廣西・ロジネットジャパン社会貢献基金」へ助成金として寄贈し、交通遺児への就学費用の助成等の支援活動を行っている。



第23回 ロジネットジャパンチャリティーコンサート  
2025年4月12日 札幌コンサートホールKitara 大ホールで開催

#### 公益財団法人 廣西・ロジネットジャパン社会貢献基金

1990年、株式会社ロジネットジャパンの前身である札幌通運株式会社の代表取締役社長を務めた故廣西小一郎氏が、道内の交通遺児への奨学金の給付を目的として設立した「財団法人 廣西交通遺児育英基金」としてスタートした。現在は、給付対象を交通遺児以外の災害遺児などにも広げると共に、新たに福祉事業などへの助成事業も行っている。

# 人財育成に関する指標

## ● 女性活躍推進

男女両性に関わらず活躍できる取り組みとして、女性管理職の積極的な登用を推進。「管理職に占める女性従業員」の実績(当社)は24.5%で、うち49歳以下では女性従業員の割合が比較的高い。

### 女性管理職の登用状況(2025年3月時点)

合計人数	管理職53名中、 女性従業員13名(24.5%)
うち49歳以下	管理職21名中、 女性従業員9名(42.8%)

## ● 処遇水準の見直し

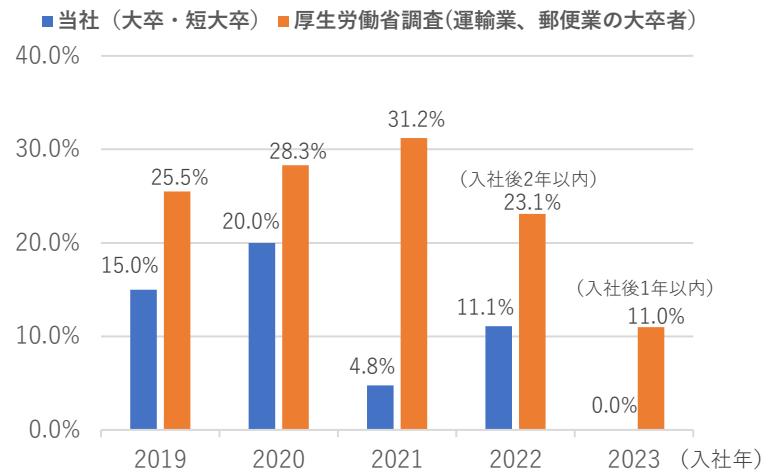
所定労働時間の短縮や福利厚生諸制度の充実と合わせて、初任給の引き上げを含めた処遇水準の見直しを継続的に実施。



## ● 離職率推移

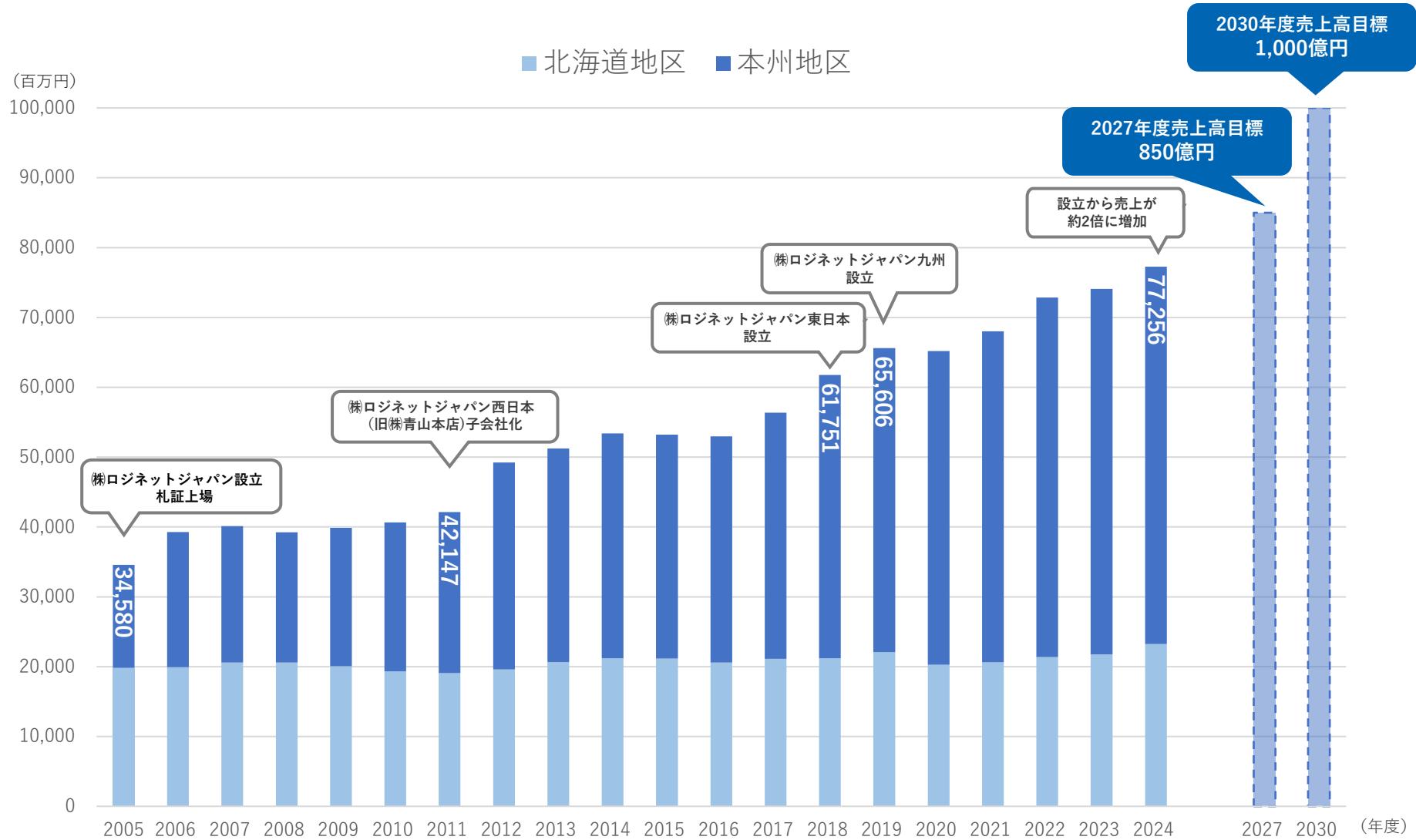
処遇水準の見直しや職場環境整備などの人財投資を進めた結果、近年の新卒社員の入社後3年以内の離職率は産業別平均(厚生労働省調査)より低位で推移。

### 入社後3年以内の離職率推移

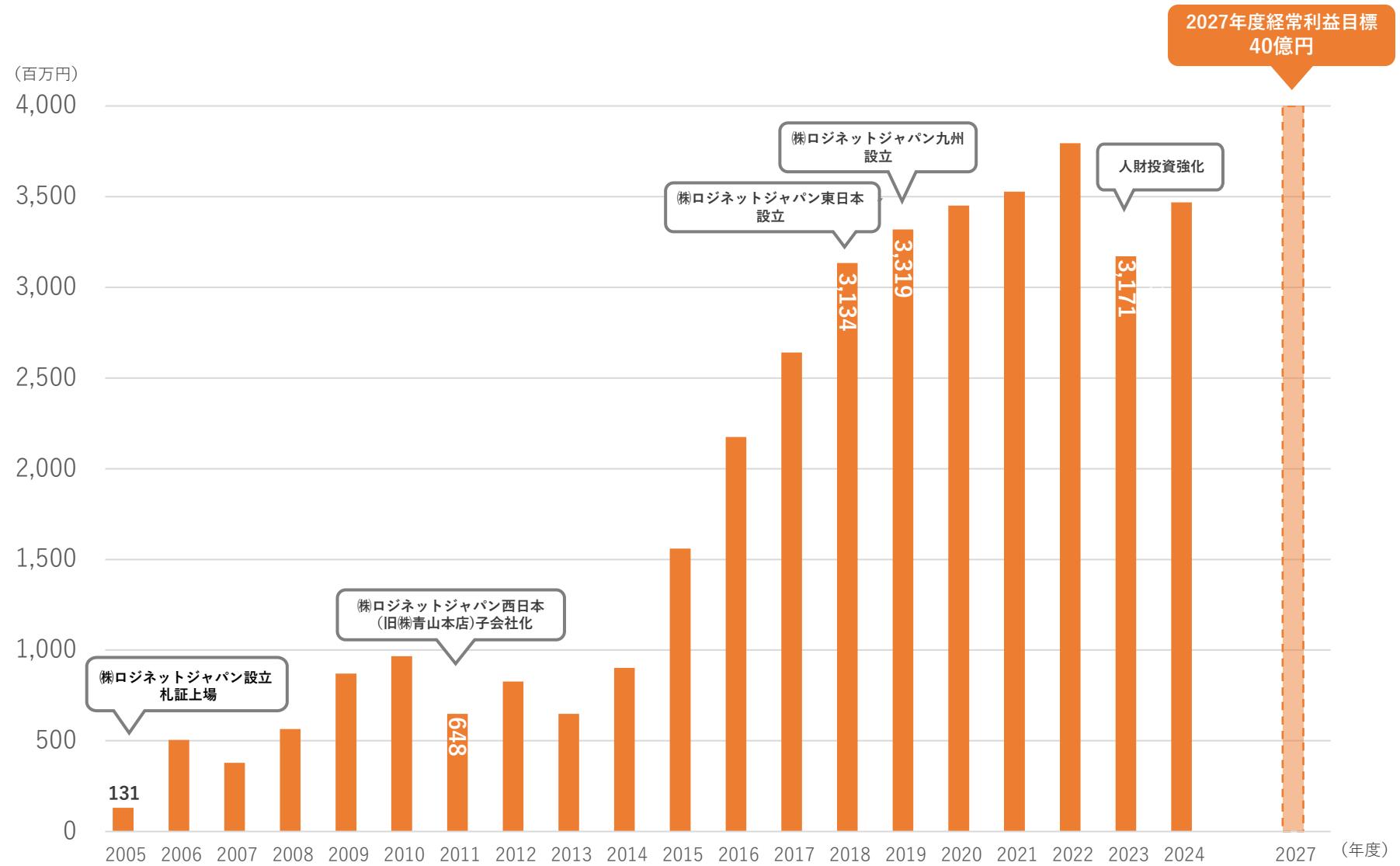


※当社は4月入社の新卒社員、厚生労働省調査は同年3月の新規大卒者

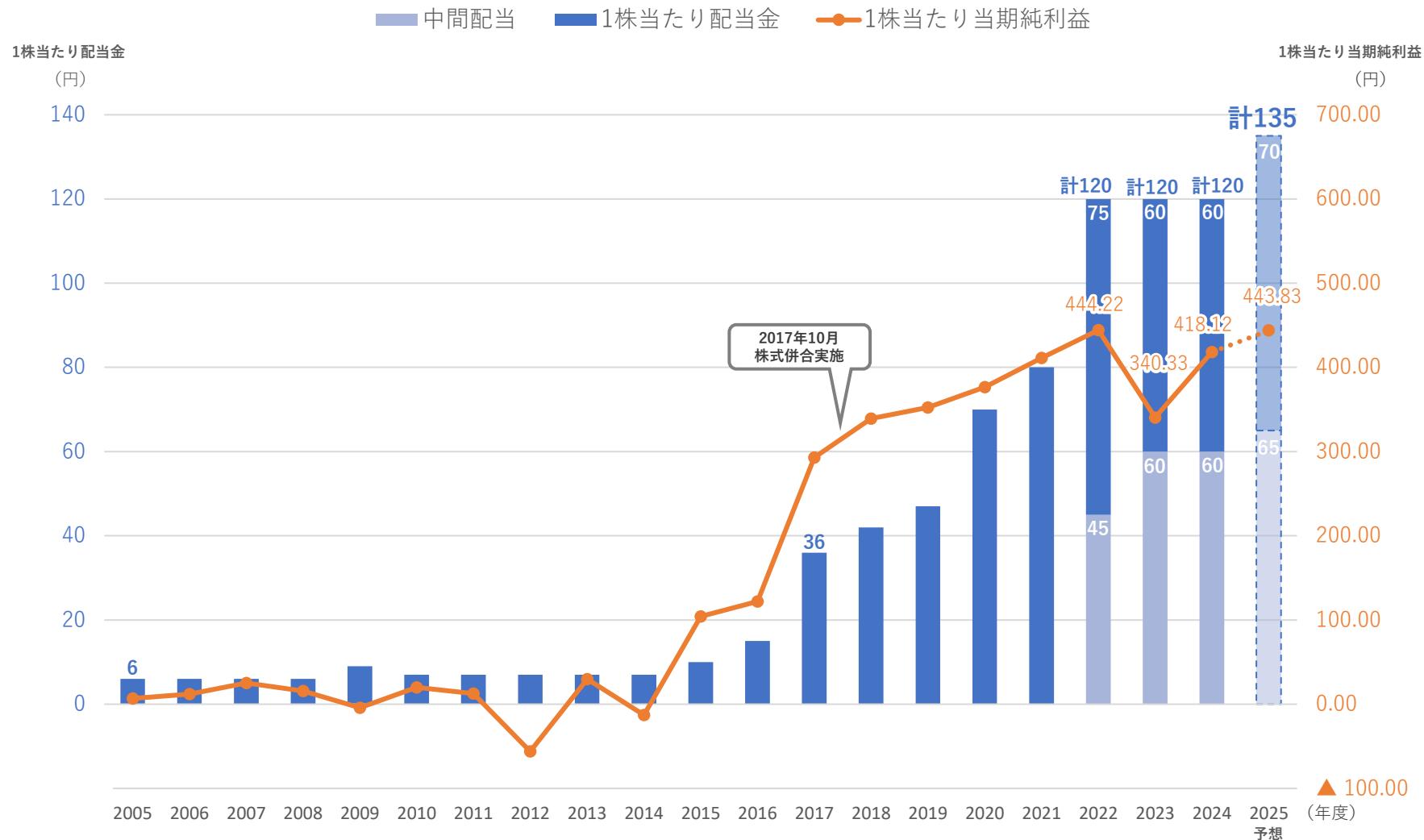
## 売上高推移



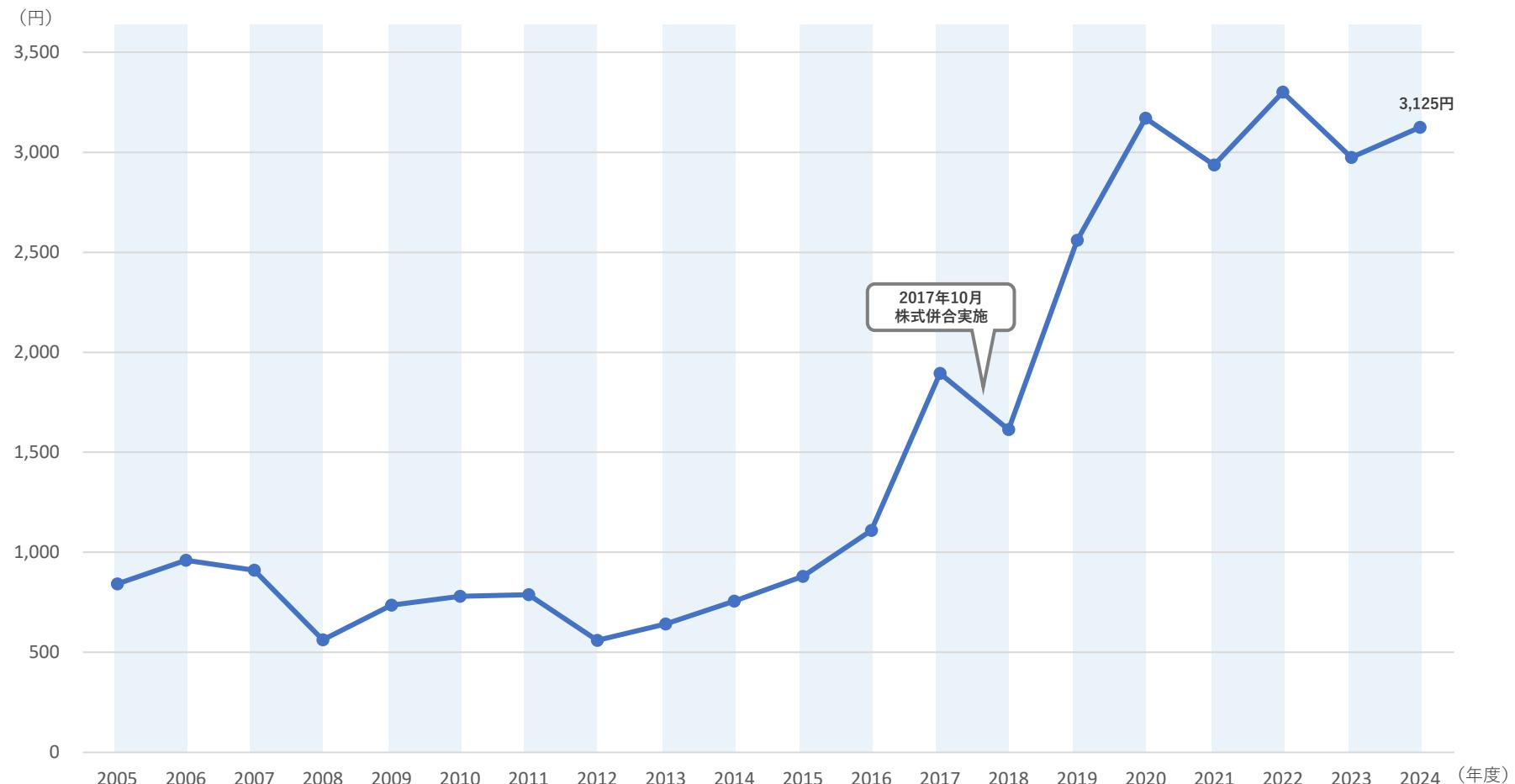
## 経常利益推移



# 配当金・1株当たり当期純利益の推移



## 株価推移



## 当社ウェブサイトのご案内

- ・トップページ



<https://www.loginet-japan.com>

- ・IRページ



<https://www.loginet-japan.com/ja/ir.html>

- ・中期経営計画 2025-2027



<https://www.loginet-japan.com/ja/ir/management/strategy.html>

- ・IRに関するお問い合わせフォーム



<https://www.loginet-japan.com/ja/ir/contact1.html>

本日はご清聴いただき、ありがとうございました！



本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、  
その意見や予測等の内容を確約したり、保護するものではなく、  
今後、予告無しに変更されることがあります。  
本資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、  
利用者の判断によって行ってくださいますようお願ひいたします。

万一、この情報に基づいて、被ったいかなる損害についても、  
弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。